

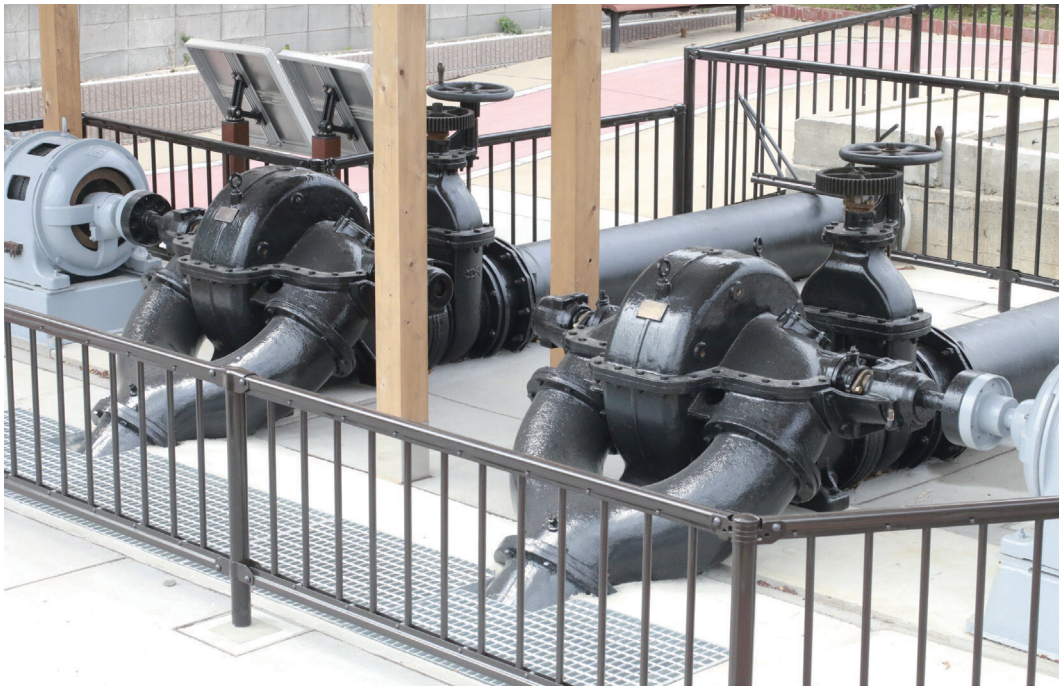
しおどめようすいきじょう およ 潮止揚水機場ポンプ及びモーター

平成 18 年 6 月 1 日 八潮市登録有形文化財（歴史資料）
●八潮市大字二丁目 127 番地（潮止揚水機場記念ひろば）

潮止揚水機場は、慢性的な水不足に苦しんでいた潮止村の耕地整理事業の一環として昭和 4 年（1929）に建てられた施設である。当時普及し始めた電力で稼働する揚水機によって、直接中川から水を引くことで農地の水不足を解消し、農業生産力の向上に寄与した。

ポンプは揚水機場竣工当初から使用してきた

もの 2 台で、(株)大阪西島製作所が^{とりしま}大正 13 年～昭和 19 年（1924～44）に 73 台製造したもののうちのふたつである。モーターは昭和 26 年（1951）(株)明電舎製^{めいでんしゃ}の^{さんそうゆうどうでんどうき}三相誘導電動機 2 台である。これらは、潮止地区の農業や川と用水、生活の関わりを物語る貴重な歴史遺産である。



◎公開の有無：常時公開

◎交通案内

- ・草加駅東口からバス（八潮駅南口行、木曾根行、または八潮市役所経由八潮駅北口行）「ふるさとの森」下車徒歩 3 分



本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。